

# 2011年9月期第2四半期連結決算

---

2011年5月10日

株式会社三菱総合研究所

---

東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

三菱総研グループは、危機対策・復興再生プランの設計に知恵と力を結集し、単なる災害復旧にとどまらず震災に強い地域、企業、街づくりなど、わが国の社会・産業に明るさと活力、発展性を取り戻す方策を提言・実現していきたいと考えています。

代表取締役社長 大森京太

---

1. 2011年9月期第2四半期決算

2. 2011年9月期業績見通し

---

3. 参考資料

---

# 第2四半期連結決算

(百万円)

	2010年9月期 2Q累計実績 ①	2011年9月期 2Q累計実績 ②	前年同期比		2011年9月期 2Q累計 (11/8予想) ③	前回予想差 増減額 ②-③
			増減額 ②-①	増減率		
売上高	36,153	35,360	△792	△2.2%	35,500	△139
売上原価	27,799	27,653	△146	△0.5%		
売上総利益	8,353	7,707	△646	△7.7%		
販管費	5,133	5,716	+583	+11.4%		
営業利益	3,220	1,990	△1,229	△38.2%	2,580	△589
営業利益率	8.9%	5.6%	△3.3P		7.3%	△1.6P

# 第2四半期連結決算

(百万円)

	2010年9月期 2Q累計実績 ①	2011年9月期 2Q累計実績 ②	前年同期比		2011年9月期 2Q累計 (11/8予想) ③	前回予想差 増減額 ②-③
			増減額 ②-①	増減率		
営業利益	3,220	1,990	△1,229	△38.2%	2,580	△589
営業外損益	63	234	+171	+271.4%		
経常利益	3,283	2,225	△1,058	△32.2%	2,590	△365
特別損益	△29	△463	△433	—		
税金等調整前四半期純利益	3,253	1,761	△1,492	△45.9%		
法人税等	1,500	627	△872	△58.2%		
少数株主利益	74	131	+56	+76.1%		
四半期純利益	1,678	1,001	△676	△40.3%	1,291	△290
1株当たり四半期純利益(円)*1	102.21	61.01	△41.20	△40.3%	78.60	△17.59

\*1 1株当たり当期純利益は期中平均株式数により算出: 2010年9月期・2011年9月期 16,424千株

# セグメント別業績 <前年同期比>

(百万円)

		2010年9月期 2Q累計 (10~3月)	2011年9月期 2Q累計 (10~3月)	増減額	増減率
シンクタンク ・コンサルティング事業	売上高	8,394	8,226	△168	△2.0%
	営業利益	870	284	△586	△67.3%
	営業利益率	10.4%	3.5%	△6.9P	
ITソリューション事業	売上高	27,758	27,134	△624	△2.2%
	営業利益	2,336	1,689	△647	△27.7%
	営業利益率	8.4%	6.2%	△2.2P	

# 2011年9月期第2四半期のまとめ

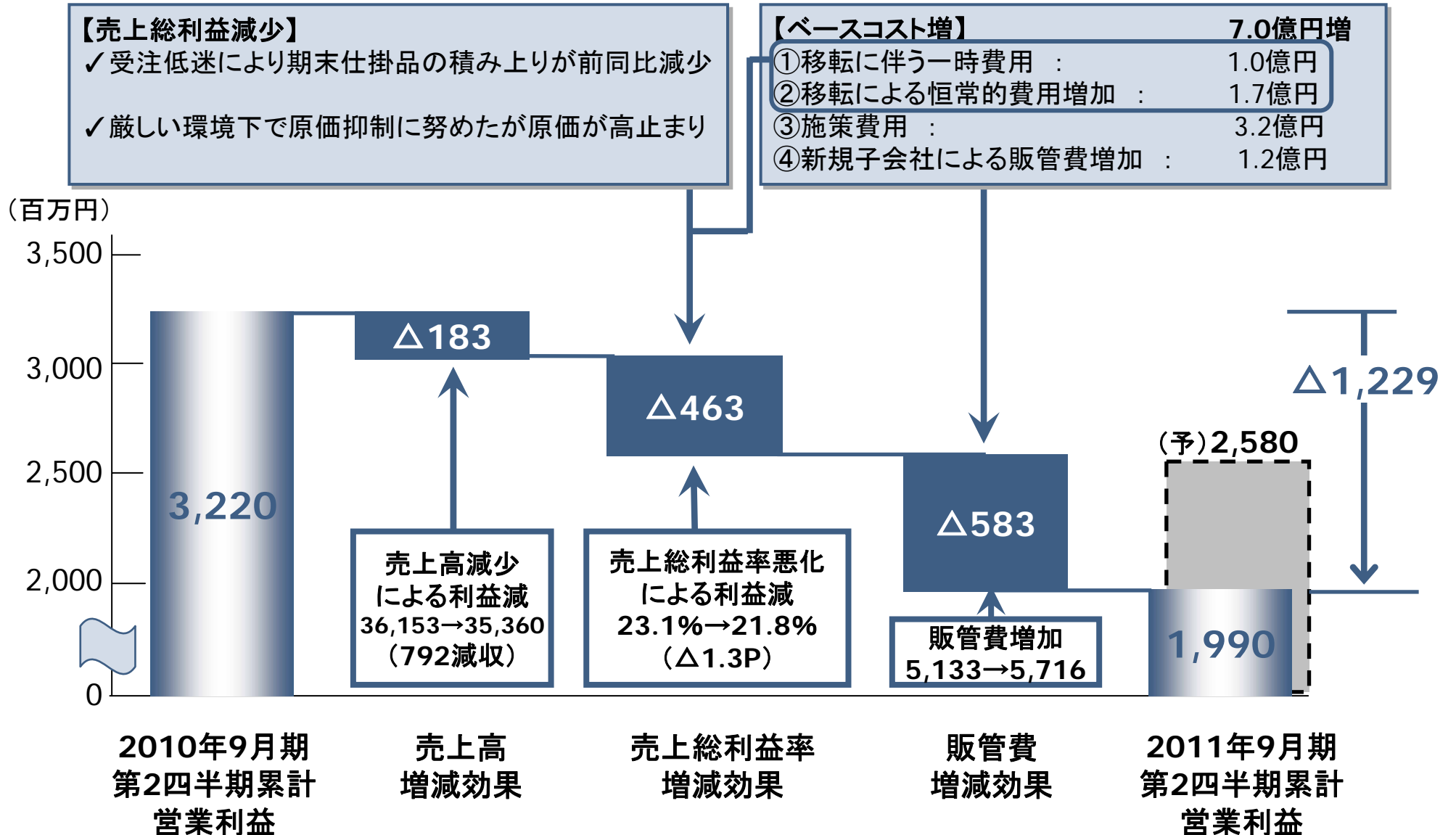
前同比:売上高▲7.9億円、営業利益▲12.3億円、純利益▲6.8億円

- 売上:金融・一般案件は伸長。カード法改正対応収束が響き、減収
- 営業利益:本社移転及び施策費用の増加、受注低迷による期末仕掛品の積み上がり不足により、減益

計画比:売上高▲1.4億円、営業利益▲6億円

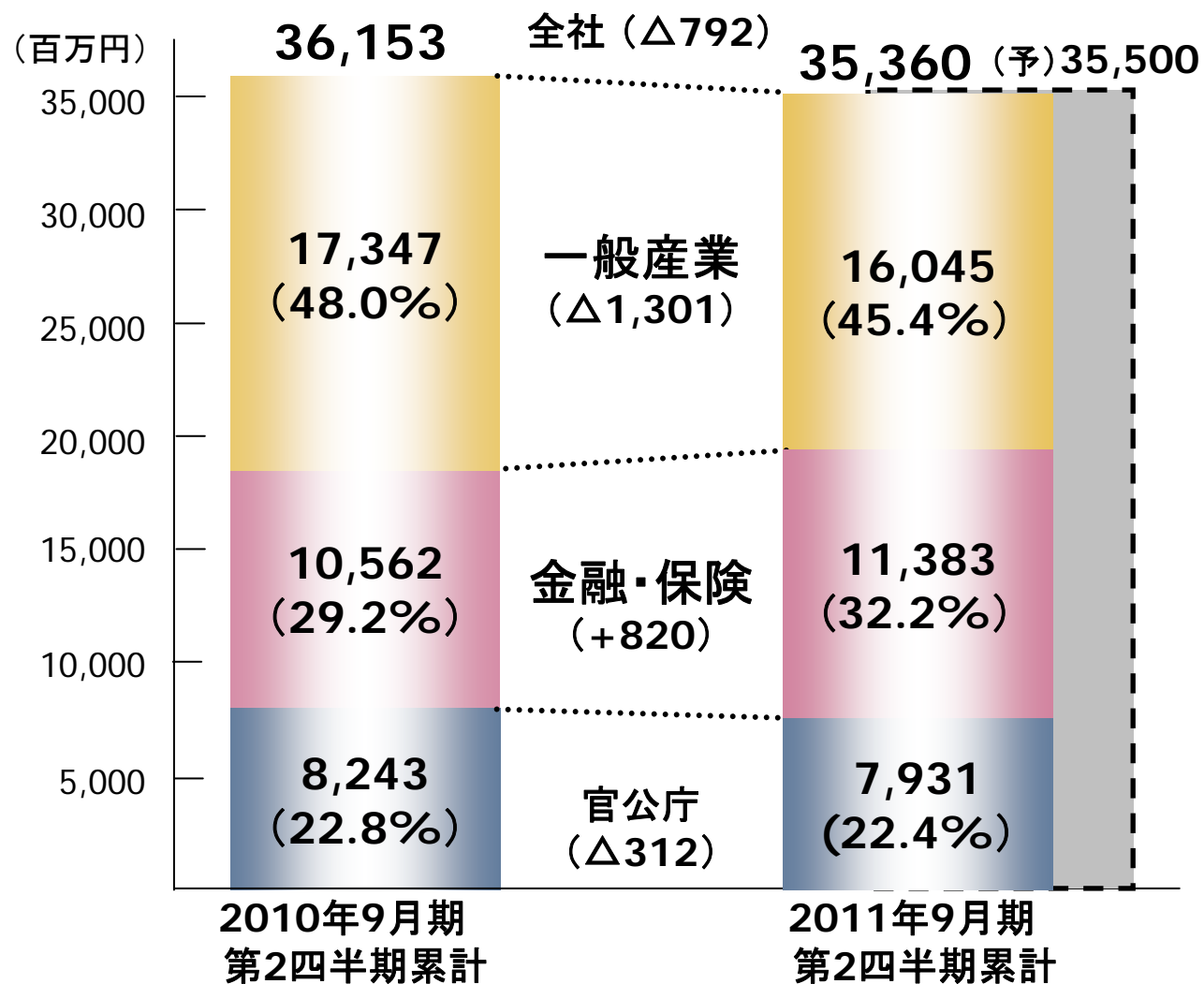
- 計画では原価抑制・生産性向上により、売上総利益をほぼ前年同期並みに維持することを目指したが、達成できず、営業利益は大幅未達

# 営業利益の変動要因 <前年同期比>





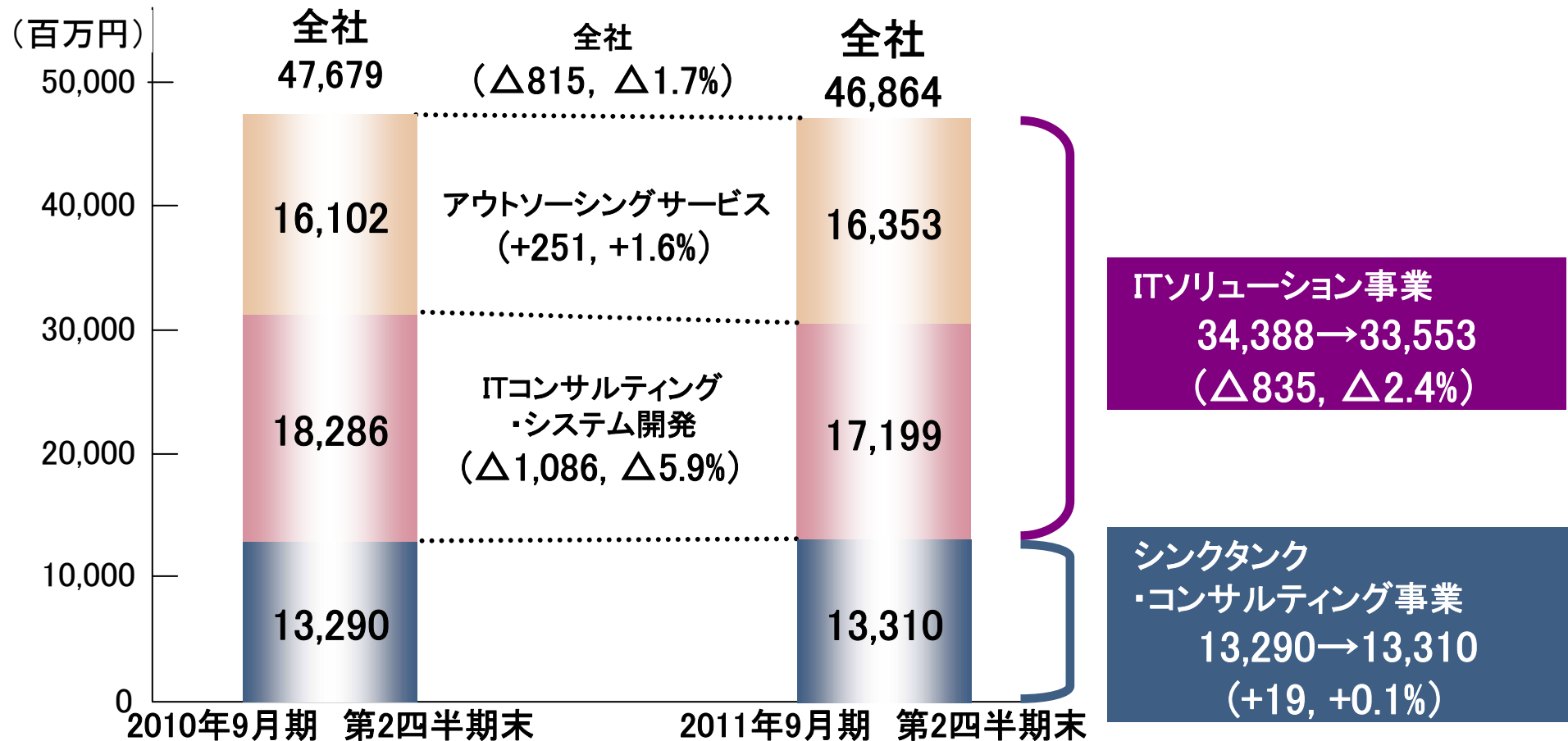
# 顧客業種別売上高 <前年同期比>



# セグメント別受注残高 <前年同期比>

厳しい環境下で、受注残高は前年同期比マイナス

- 当期売上案件は前年同期比減少。翌期売上案件の出足は例年並み



---

1. 2011年9月期第2四半期決算

---

2. 2011年9月期業績見通し

---

3. 参考資料

---

# 2011年9月期 連結業績予想

上期実績及び震災影響を反映し、通期業績予想を下方修正

(百万円)

	2010年9月期 実績 ①	2011年9月期 (4/28予想) ②	前期比		2011年9月期 (11/8予想) ③	前回予想差 増減額 ②-③
			増減額 ②-①	増減率		
売上高	73,323	73,100	△223	△0.3%	75,200	△2,100
シンクタンク・コンサルティング事業	20,222	21,154	+932	+4.6%	22,070	△916
ITソリューション事業	53,101	51,946	△1,155	△2.2%	53,130	△1,184
営業利益	4,875	3,800	△1,076	△22.1%	5,080	△1,280
営業利益率	6.6%	5.2%	△1.5P		6.8%	△1.6P
経常利益	5,030	4,100	△931	△18.5%	5,150	△1,050
当期純利益	2,516	1,900	△617	△24.5%	2,670	△770
1株当たり当期純利益(円)*	153.22	115.68	△37.54	△24.5%	162.57	△46.89

\* 1株当たり当期純利益は期中平均株式数により算出:2010年9月期・2011年9月期 16,424千株

# 2011年9月期予想の修正

売上高予想: 731億円 前期比▲0.3% (21億円下方修正)

- 上期末受注残高が計画未達。特に当期売上案件が不調
- 震災による先行き不透明感から、下期受注回復期待を下方修正
- 震災対応でシンクタンクが果たすべき役割が増えるの見込む

営業利益予想: 38億円 前期比▲22.1% (12.8億円下方修正)

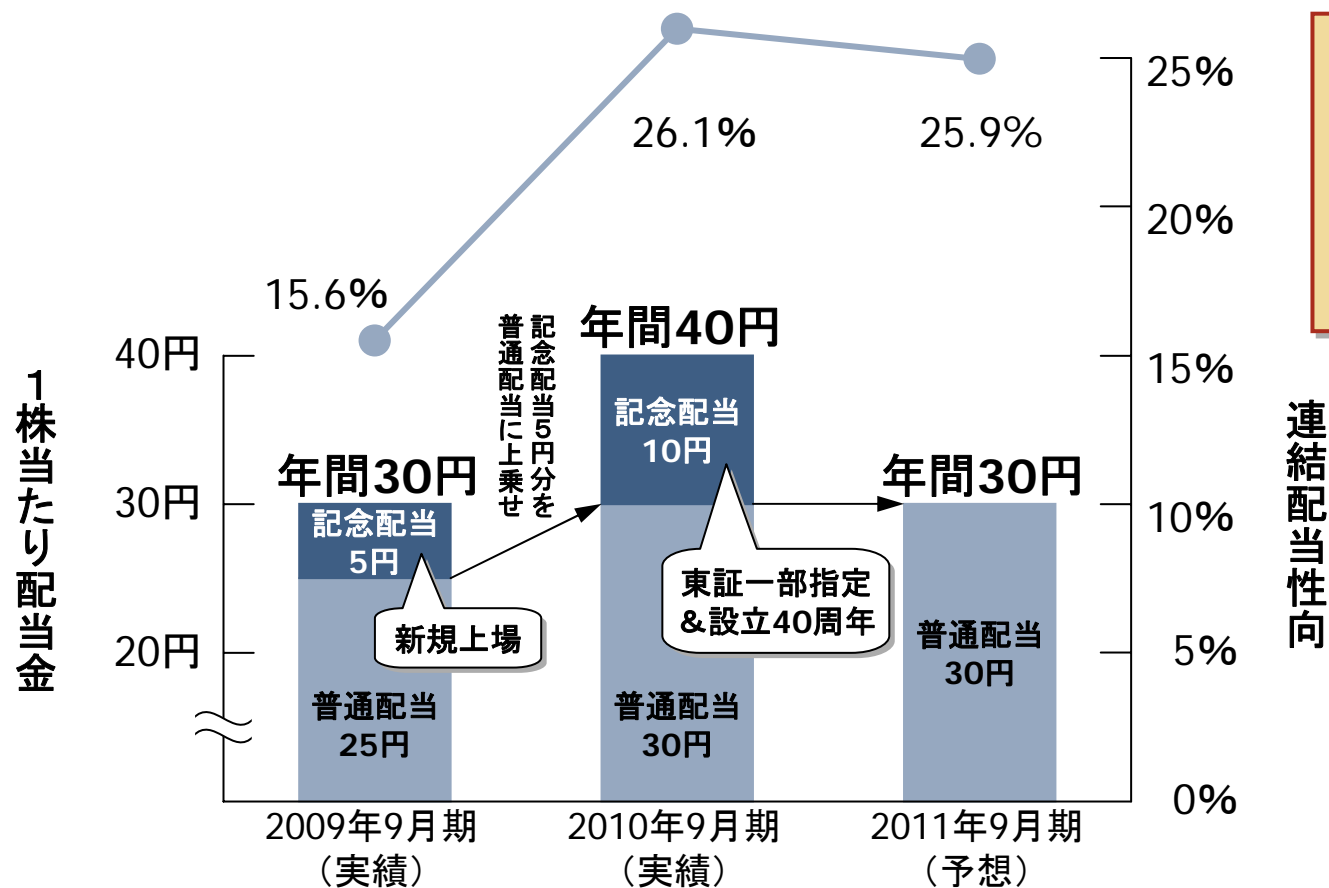
- 期初想定では、売上の伸び、稼働率アップによる原価率改善を織り込み。売上下方修正に伴い見直し
- 引き続き、経費の圧縮に取り組み、営業利益38億達成を目指す

# 2011年9月期配当予想

前回(11/8)予想から変更なし

## 配当方針

連結ベースにおける業績動向、財務状況を総合的に勘案しつつ、必要な内部留保に努めながら、連結配当性向20%～25%に漸次高めていくことを目指し弾力的に決定



**2011年9月期**  
 中間配当: 15円  
 期末配当予想: 15円  
 年間配当予想: 30円

---

1. 2010年9月期決算

---

2. 2011年9月期業績見通し

---

3. 参考資料

# 震災・復興に関する提言（全体像）

三菱総合研究所は全社を挙げて対応策を検討、提言としてとりまとめ

◆2011年4月8日発表 「東日本大震災被害からの復興に関する提言」

提言  
趣旨

単なる現状復旧にとどまらず、  
環境や高齢化という地球規模の課題を解決する先進地域の形成を目指して、

① 地域主体で ② 十分な合意形成を図りつつ ③ 果敢に実行する  
ことが重要。

そうした復興プロセスは 国際的信頼感向上につながる。

## 緊急提言1

被災地を支えるために

- 1.1 被害拡大の阻止
  - 有疾患被災者への適切な対応で  
人的被害の拡大防止を
- 1.2 被災地支援体制の充実
  - 被災地ニーズ、  
業務量の把握と公表を

## 緊急提言2

夏の電力危機を乗り切るために

- 2.1 電力需要のピークカットの徹底
  - 夏場の停電回避には、電力需要の  
総量規制より、ピークカットを
- 2.2 省エネ・快適社会への転換加速
  - LED照明、建築物の省エネ化など  
中長期的な取組みを

## 復興の進め方

望ましい国土・地域像の実現へ

- 3.1 地域主導かつ広域的な視点での復興計画
- 3.2 安全で個性を活かした先進的まちづくり
- 3.3 新産業創出と雇用創造
- 3.4 重要サプライチェーンの維持
- 3.5 原子力事故からの教訓

◆2011年4月18日発表 「2010～2012年度の内外景気見通し(東日本大震災後の改定値)」

◆2011年4月21日発表 「夏の停電回避を確実にするために」

今後、順次発表予定



# 提言：電力危機対応

## ◆2011年4月21日発表

「夏の停電回避を確実にするために」  
～鍵を握る家庭部門の節電行動～

### 政府が求める今夏の節電対策

(「夏期の電力需給対策の骨格(案)」2011年4月8日)

□大口需要家：前年比25%程度減

□小口需要家：前年比20%程度減

□家庭・個人：前年比15～20%減

(強制ではなく、計画策定なども不要)

### アンケート調査により家庭部門15%節電の 達成可能性を検証

(東電管内の2,060世帯を対象とした

インターネットアンケートを4月13日に実施)

⇒節電余地は必ずしも十分ではない

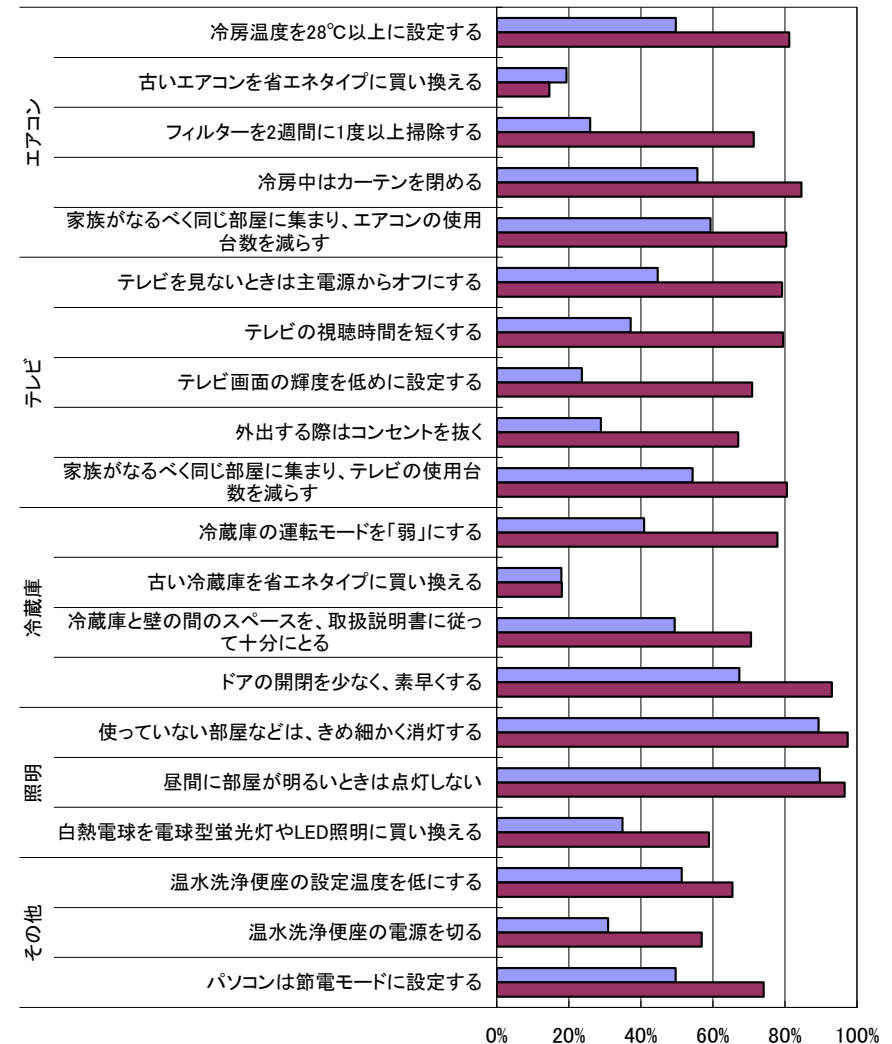
供給力の上積みも検討されるが、  
家庭における**一層の節電行動促進が肝要**

①更なる節電意志の醸成

②世帯全員不在となる行動(旅行、屋外イベント、アウトドアライフ)や電力に頼らない暑さ対策  
加えて、需給が逼迫した場合に、その状況をリアルタイムに広く周知する仕組みも重要。

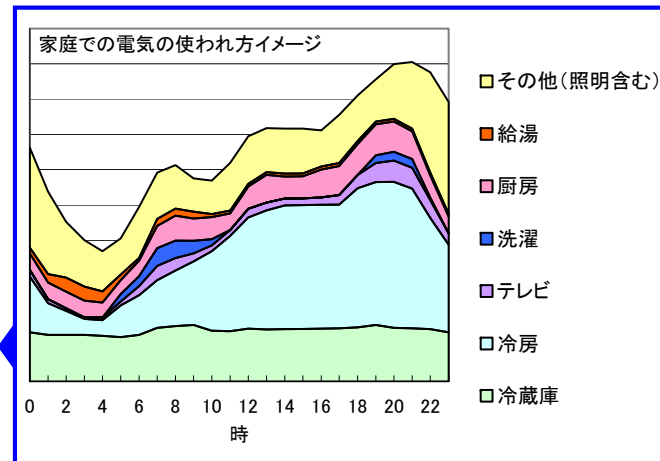
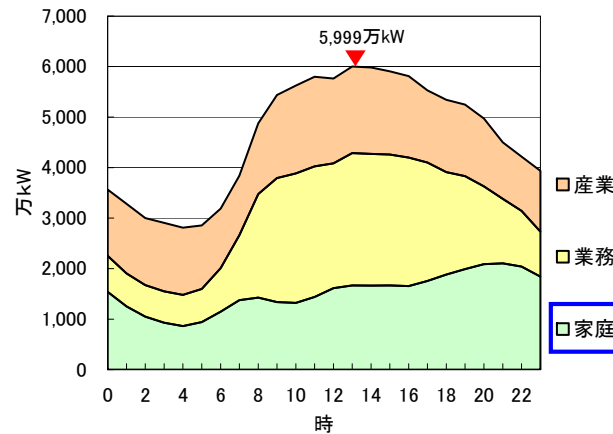
### アンケート結果例：家庭での節電取組について

■昨夏に実施した ■今夏に実施したい



# 提言：電力危機対応

## 昨夏の電力需要推計

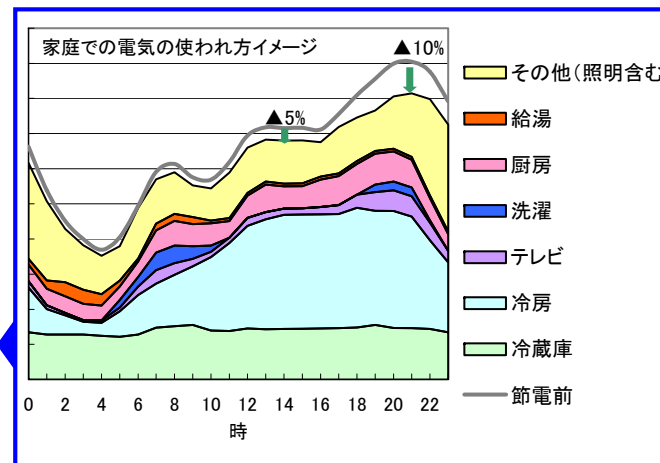
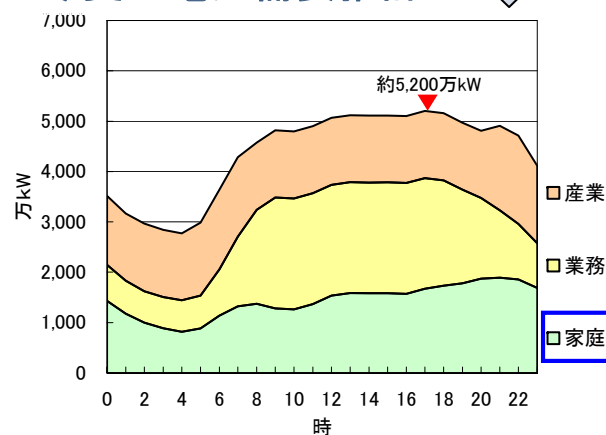


アンケートに基づく「節電意思」が顕在化\*すると、どの程度のピークカットが見込めるか

\*「昨夏は節電を実施していなかったが今夏は実施したい」との回答が80%顕在化したと想定するケース

大口需要家に対する電力使用制限  
アンケートに基づく家庭部門の節電意思

## 今夏の電力需要推計



家庭部門の削減率：  
「節電意思」顕在化ケース

昼ピーク：前年比5%減  
夜間ピーク：同10%減

**15%減には一層の取組が必要**

2011年4月21日 当社プレスリリースより

[http://www.mri.co.jp/NEWS/press/2011/2027711\\_1401.html](http://www.mri.co.jp/NEWS/press/2011/2027711_1401.html)

# プレスリリース

2011年2月24日



## バブル終焉から20年 バブル世代の実態を調査

三菱総合研究所では、株式会社トヨタマーケティングジャパンと共同で、2011年2月でバブル終焉20年（内閣府経済社会総合研究所発表データより<sup>(※)</sup>）という節目にあたり、華やかな“バブル時代”を過ごした現在の40～50代男性の価値観・生活観に着目し、今も自動車への関心が高い彼らのライフスタイルがこの20年でどのように変化したのか、実態を探るべく、意識調査を実施。

分析の結果、このバブル世代の多数を占めたのは、以下の2タイプ。

安定生活志向型

28.8%

経済的・人間関係的に安定して生活することを何よりも重視するタイプ。それ以外のことは何事も平均的。

主体的インテリジェンス生活志向型 25.6%

環境や社会のことも配慮しながら、仕事の成功も大事にし、消費生活を楽しむタイプ。情報を主体的に選別して、知的で思慮深い生活をしたいと考えている。

分析結果の詳細は当社ホームページよりご参照ください。




[http://www.mri.co.jp/NEWS/press/2011/2026160\\_1401.html](http://www.mri.co.jp/NEWS/press/2011/2026160_1401.html)

※内閣府経済社会総合研究所「2009年 景気基準」より。景気指標第11循環期の山が1991年2月とされていることによる。

# プレスリリース

2011年3月31日



## 「学校評価結果を受けた設置者による支援の視点とポイント」を公表

三菱総合研究所では、文部科学省からの委託により、平成22年度「学校評価の評価手法等に関する調査研究」(D.学校評価結果を受けた設置者による支援の在り方に関する調査研究)を実施。本調査研究により得られた知見等をまとめた「学校評価結果を受けた設置者による支援の視点とポイント」を公表。



### 「学校評価結果を受けた設置者による支援の視点とポイント」概要

対 象: 主に教育委員会の皆様

内 容: 学校評価結果を整理・分析し、効果的・効率的によりよい教育施策を展開するための担当者向け解説書。教育委員会において各学校の学校評価結果を効果的・効率的に活用するための視点やポイント、整理・分析方法、基本的な手順をまとめたもの

活用例: 管内の学校の平均的な様子を把握、各学校が学校経営計画策定の参考にする  
優れた取り組みやノウハウを学校間で共有する  
教育委員会が実施する教育施策の進捗を確認し、評価・改善を図る

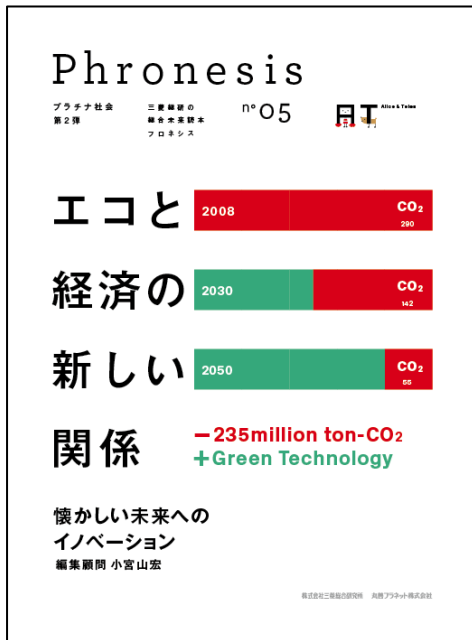
本書の全文は当社ホームページよりご参照ください。



[http://www.mri.co.jp/NEWS/press/2011/2027010\\_1401.html](http://www.mri.co.jp/NEWS/press/2011/2027010_1401.html)

# 出版物

## 三菱総研の総合未来読本



書籍名 『Phronesis』 シリーズ第5弾  
編著者 三菱総合研究所  
発行日 2011年1月20日  
発行 丸善プラネット



書籍名 図解 新エネルギー早わかり  
著者 三菱総合研究所 早稲田 聡  
発行日 2011年1月27日  
発行 中経出版



書籍名 先読み「情報脳」の鍛え方  
著者 三菱総合研究所 小関 悠  
発行日 2011年1月17日  
発行 ぱる出版

書籍名 大学生がダメされる50の危険  
著者 三菱総合研究所  
全国大学生生活協同組合連合会(協力)  
発行日 2011年2月10日  
発行 青春出版社



### 将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

株式会社三菱総合研究所  
広報・IR部 IR室

TEL : 03-6705-6001  
FAX : 03-5157-2171  
E-mail : ir-info@mri.co.jp  
URL : <http://www.mri.co.jp/>